

『まちづくり展 2011』を開催

期間：9月26日（月）～28日（水）
場所：新宿駅西口広場イベントコーナー

技士会では、毎年、東京建設業協会との共催で、機能的かつ魅力的な東京のまちづくりや建設業の役割・技術をPRするため、新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて「まちづくり展」を行っている。

今年は、3月に東日本大震災が発生したこともあり、「災害を乗り越える」というサブタイトルをつけ、「東日本大震災の復興に向けて」「都民の安全安心をまもる」「省エネに取り組む」「東京の未来に向けて」という4つのテーマのもと開催し、会員企業20社より、模型やパネル、見本など約190点の広報物の提供をいただき、紹介した。

展示物はテーマごとに配し、「東日本大震災の復興に向けて」では、今年の震災後に福島県の避難所で被災した子供達が作った「夢のまち」などの模型の数々を展示、また、大学からは「仮設住宅の提案」、津波の被害状況を模型にした「模型に見る復興への障害」などの調査や研究などが発表された。

「都民の安全安心をまもる」では、建設企業から

耐震模型や耐震補強、地盤改良の技術などが出展され、行政から都市型水害を防ぐ地下調節池の大型模型などが出展された。

「省エネに取り組む」のコーナーでは、節電対策、自然エネルギーの利用、風力や太陽光を利用する発電技術、CO₂の削減、地球温暖化対策に関するさまざまな技術が紹介された。

「東京の未来に向けて」では、行政などが行うまちづくりに関する展示のほか、来場者が無料で相談できる建築総合相談コーナーを開設した。

このほか、来場者参加型イベントとして、観測データをもとに振動を再現する「地震シミュレーター」の体験やフォトグラファーの大山顕氏による講演を行い、多くの方に参加いただいた。

また、会期中は、3日間で12,000人と、大変多くの方々に来場いただき、「災害の対策などに前向きに取り組んでくれていることが感じられてよかったです」などの感想をいただきました。



オープニングセレモニー（左から3番目／水島会長）



会場の風景



大山 顕 氏 講演



会場の風景



会場の風景

<p>展示テーマ&コーナー</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 東日本大震災の復興に向けて 2 都民の安全安心をまもる 3 省エネに取り組む 4 東京の未来に向けて <p>ほか、子どもたちによる「夢のまち」「夢の海」の展示や高校生のポスター展 など</p>
<p>イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地震ザブトン 実測データをもとに地震をリアルに再現する「可搬式地震動シミュレーター」の体験コーナー ●大山顕氏講演「東日本大震災 東京帰宅難民レポート」 あの日、帰るのが大変だったみなさんの体験を収集・分析した講演会
<p>建築総合相談コーナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ●東京都住宅バリアフリー推進協議会によるバリアフリー相談【無料】 専門家による住宅の新築・増築、耐震補強、バリアフリー化に関する無料相談
<p>クイズラリー</p> <p>会場内にあるエコや防災に関するクイズに答えるクイズラリー</p>

展示内容：イベント等一覧